

アンケート結果

ふわっと感じている、だけれどもロジカルに伝えづらい「グリーンっていいよね」。ユニバーサル園芸社ではこのふわっとした思いを形にしたいと、多くの人にアンケートを実施。

ユニバーサル園芸社のアンケートに
答えて頂いた方

547名

今回は集まったアンケート結果を「feeling」「layout」「Thinking」の3項目にまとめてお届け。

Feeling



公園や山、林など子供のころから見慣れている原風景の中にあるグリーン。日常生活に溶け込んでいるマテリアルだからこそ、視界に入ったり、身近にあるときに居心地の良さを感じる。

植物があることで
居心地がいいと感じてる人

96.9%

大きくても透け感があるため空間に柔らかくインパクトを与えるグリーン。樹種によってはストレス緩和や集中力の向上を手伝うため、ワークスペースに入れている会社も増えている。



植物があることで社内の雰囲気が良くなると思っている人

93.0%



葉の細かいものから大きいもの、形も個性的なものが多いグリーン。

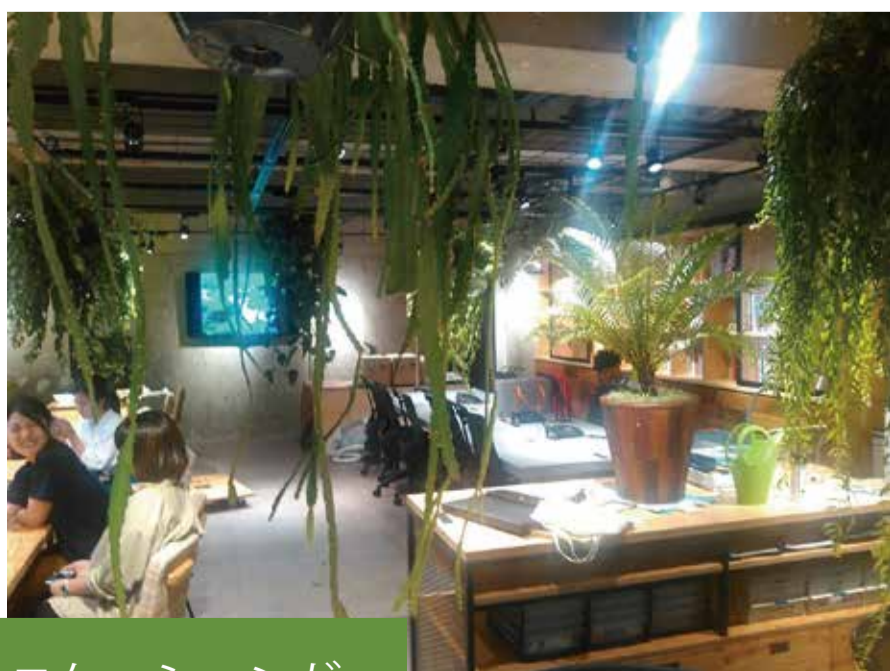
だからこそ、さまざまな空間にマッチしたときにフォトジェニックな空間が生まれる。

オフィスの様子を写真で発信する際、
グリーンを意識する人

73.9%

グリーンはインテリアマテリアルの中で唯一とも言える変化するもの。

成長していく中でさまざまな変化を見せていく。それ自体が話題になりつつ、変化のある空間がコミュニケーションをしやすい空間を造っている



植物があることでコミュニケーションが増えると思っている人

54.1%



種類によって空間が持つ緊張感を緩和させるグリーン。張り詰めた空間を解きほぐすことで発言しやすい空間を作っている。

植物があることで
発言しやすくなると思っている人

48.0%

グリーンについてどう感じているのかストレス緩和効果が認められている昨今だからこそ、「居心地が良い」、「雰囲気良くなる」と感じている人が多数。コミュニケーション促進や発言率の向上に関しては約半数が感じているものの、わからないと感じている人が多く、まだまだ深堀出来そうな箇所かもしれない。

Layout



3社に1社がエントランスにグリーンを置いている。置いているグリーンは鉢ものもあればグリーンウォールなどその企業に合わせて形を変えてエントランスに置かれている。



エントランスに植物を
置いている企業

32.2%

どの規模の企業でも30%以上がワークスペースにグリーンを置いている。

日頃の仕事をを行う空間にグリーンを置くことでグリーンの良さを体感している企業が多い。



ワークスペースに植物を
置いている企業

34.4%



ミーティングルームにグリーンを一番置いているのは50人以下のオフィス。

リフレッシュスペースと違いスペースをしっかりと取ることが出来るため、グリーンを置くことが多い。

ミーティングルームに植物を
置いている企業

11.8%



オフィスが大きくなるにつれて役員室や応接室など、さまざまなスペースが増えていく。統一して言えることはリラックス空間やコミュニケーション空間にグリーンを置くことが多い。

グリーンが人の緊張をほぐしてくれるという意識が強いみたいだ。

Thinking



意外と多かったのが専門業者と自社、手分けしてメンテナンスを行う形。

コストを抑えつつ、来客スペースはきれいに保てる様にコストバランスを見ている会社が多い。

グリーンのメンテナンスを
専門業者に委託しているオフィス

58.7%

多くの会社が設計の段階でグリーンの導入を検討。オフィスの壁、ベンチやビックテーブルと一体で考えていることが増えてきているからこそ、設計の段階でグリーンの導入を検討している。



設計段階で
グリーンの導入を考えている会社

66.3%



バイオフィリックデザインやウェルビーイングなどグリーンを取り入れたコンセプトワードが増えている昨今、デザインコンセプトとしてグリーンを入れている会社が増えてきている。

デザインコンセプトとして
グリーンを取り入れている会社

35.6%

グリーンのメンテナンスを自社と専門業者で分担してメンテナンスしているオフィスが多く感じられた。ラーニングが掛かってしまうがメンテナンスが難しいグリーンだからこそ「来客エリアは専門業者」「ワークスペースは自社」という様にエリアの用途ごとにラーニング方法を検討した上でデザインに取り込んでいくという方法も考えられる。